

令和4年度福津市保健事業実績

基本方針	施策の柱	事業名	主な内容	R4年度	受診率または実施率	目標値または計画値等	担当課	
生活習慣病の早期発見、発症予防・重症化予防	がん	がん検診等事業	胃がん検診(30歳以上)※受診率は地域保健報告より	2,003人	8.5%	-	いきいき健康課	
			肺がん検診(30歳以上)※受診率は地域保健報告より	3,310人	6.9%	-		
			大腸がん検診(30歳以上)※受診率は地域保健報告より	3,535人	7.5%	-		
			子宮頸がん検診(20歳以上・2年に1回)※受診率は地域保健報告より	1,292人	9.5%	-		
			上記の内数 無料クーポン券受診者 (H28年度～20歳)	20歳 25人		-		
			乳がん検診(40歳以上・2年に1回)※受診率は地域保健報告より	1,488人	15.9%	-		
			上記の内数 無料クーポン券受診者 (H28年度～40歳)	160人		-		
	循環器疾患 糖尿病	特定健診	30歳～75歳未満の国民健康保険加入者を対象に、特定健診を実施(ふくとびあ等で実施:年28回)(健診センターで実施:年100回)※受診率は法定報告(40歳～74歳)より	3,620人	40.6%(暫定値)	46.0%		
		特定保健指導	特定健診受診者に対し保健指導を実施(動機付け支援(個別支援)・積極的支援(個別支援))※受診率は法定報告(40歳～74歳)より	457人	83.7%(暫定値)	72.5%		
		結果説明	健診結果説明会及び訪問や個別相談等による健診結果説明の実施※( )は保健指導の必要な人に対する指導実施人数 実施率は保健指導の必要な人に対し実際に指導できた人の割合	1,241人(538人)	72.3%	744人		
		糖尿病性腎症重症化予防事業	福岡県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに準じ、重症化予防のため、医師と連携した継続指導の実施。	141人	76.9%(暫定値)	-		
		特定健診受診勧奨	継続受診者を増やすため、前年の受診月に予約がない者に対して電話による受診勧奨、過去健診受診歴のない人や不定期受診者に対して郵送による受診勧奨を実施。また健康づくり指導員による地域を限定した訪問や電話による受診勧奨や直営による未受診者への受診勧奨通知を発送。※実施率は、各勧奨方法により受診につながった人の割合	電話 975人 郵送 978人 訪問 82人	電話 71.2% 郵送 17.0% 訪問 34.6%	-		
	健康維持・増進のための生活習慣の改善	栄養食生活	男性料理教室	男性を対象とした調理教室。食生活改善推進会に委託して実施	17人	43.0%		年2回開催 20人/回
			500kcal料理教室	一般市民を対象に、カロリーをおさえた健康料理教室 食生活改善推進会に委託して実施	74人	64.9%		年6回開催 20人/回 初回のみ 定員14人で募集
親子料理教室			小学生とその保護者を対象とした料理教室を参加しやすい土曜日に実施 食生活改善推進会に委託して実施	10人	50.0%	年1回開催 20人/回		
こども料理教室			小学4年～6年生を対象とした料理教室 食生活改善推進会に委託して実施	17人	71.0%	年1回開催 24人/回		
運動		健康増進事業	健康増進室で実施する、運動指導事業 ※計画値は、開設日数、機器台数、収容人員により設定	23,505人	83.9%	年間 28,000人		
休養 こころの健康		こころの健康相談	精神保健福祉士による、予約制で行う心身の健康相談	8人	33.0%	年12回開催 2人/回		
飲酒喫煙		特定保健指導結果説明	多量飲酒や喫煙について、対象者に指導を実施	特定保健指導及び結果説明参照	-	-		
歯・口腔の健康		節目健診	成人歯科検診(40・50・60・70歳対象)	299人	8.5%	-		

令和4年度福津市保健事業実績

基本方針	施策の柱	事業名	主な内容	R4年度	受診率または実施率	目標値または計画値等	担当課	
ライフステージに応じた健康づくりの推進	妊産婦保健指導	母子健康手帳の交付	妊娠届に基づく母子の健康に関する記録・手帳の交付 妊婦健康診査補助券(14回)の交付	573人	-	-		
		妊婦歯科健診	妊娠届の際に妊婦歯科健診補助券(1回)の交付	274人	47.8%	573人		
		プレママパパ講座	出産に向けての準備、沐浴練習、ママ同士・パパ同士の交流 隔月で土日に開催(6回/年)	40組 80人	-	年6回開催 8組/回		
		リラックス講座(産前・産後サポート事業)	マタニティヨガインストラクターによるヨガ、ママ同士の交流(6回/年)	21人	-	年6回開催 6名/回		
		ハッピークッキング講座(産前・産後サポート事業)	栄養士による妊娠中の栄養と離乳食の話 クッキング、ママ同士の交流(6回/年)	19人	-	年6回開催 4組/回		
		ハッピーふれあい講座(産前・産後サポート事業)	助産師によるベビーマッサージの講座や育児相談など ママ同士の交流(12回/年)	153組 307人 (多胎の参加あり)	-	年12回開催 14組/回		
		多胎妊産婦サポーター事業(産前・産後サポート事業)	多胎児(妊娠中から3歳になるまで)を養育中の保護者を対象に、掃除、洗濯、買い物、食事及び授乳の介助、医療機関等への同行支援を行う多胎妊産婦サポーターを派遣する	申請者数5人 利用者数0人	-	-		
		多胎ピアサポート(産前・産後サポート事業)	保育士と多胎育児経験のあるサポーターによる育児支援と多胎育児中の家族の交流会(6回/年)	89人	-	-		
		乳児全戸訪問事業	生後4か月までの乳児宅を全戸訪問し、保健指導を行う (必要に応じ妊婦訪問も実施)	585件	-	-		
		妊娠期からの保健指導	妊婦健診結果で所見があった妊婦や養育に困難が予想される妊産婦へ電話や訪問等による保健指導を行う。妊婦健診結果からの保健指導対象者の明確化(尿蛋白、尿糖、高血圧、血糖等)。特定妊婦の台帳を作成し、妊娠期からの要支援者の把握と早期介入につなげる。	149人	-	-		
		産後ケア事業	産後4か月以内(特に必要な人は1年以内)の産婦で、育児への不安や負担感が強く、体調・精神的不調がある場合、産後の母体回復が十分でなく、育児に支障をきたすおそれがある、また産後の家事・育児の支援を十分に得られない場合に、産後ケア(宿泊型・デイサービス型・訪問型)を提供する。	(宿泊型)申請者数8人、利用者数5人、延べ日数21人 (デイサービス型)申請者数33人、利用者数19人、延べ日数77人 (訪問型)申請者数8人、利用者数2人、延べ日数11人	-	-		
		低体重児届出	出生体重が2,500g未満の新生児の届出	47人	-	-		
	未熟児訪問	心身が未熟なまま出生した児や産婦に対して訪問を行い保健指導を行う	18人	-	-			
	乳幼児健診	4か月児健診	4か月児を対象に、身体測定・小児科診察・離乳食相談(希望制)・育児相談・予防接種予診票の交付・ブックスタート。NPO法人によるメディアの話。(13回/年)	590人	95.9%	615人		
		10か月児健診	10か月児を対象に、福津市・宗像市内の指定医療機関において、身体測定・小児科診察・育児相談を個別で受診する。	643人	92.0%	699人		
		1歳6か月児健診	1歳6～8か月児を対象に、身体測定・小児科診察・歯科健診・ブラッシング指導(要指導者・希望者のみ)・栄養指導(要指導者・希望者のみ)・育児相談。NPO法人によるメディアの話。(14回/年)	697人	96.9%	719人		
		3歳児健診	3歳0～2か月児を対象に、身体測定・尿検査・小児科診察・歯科健診・ブラッシング指導(要指導者・希望者のみ)・栄養指導(要指導者・希望者のみ)・育児相談。NPO法人によるメディアの話。(15回/年)	717人	98.9%	725人		
		7か月児育児相談	6～7か月児を対象に、身体測定・保健師による発達・発育等育児全般の相談、栄養士による離乳食についての相談。(12回/年、希望制)	177人	92.2%	年12回開催 16人/回		
	来所相談	運動発達相談(作業療法士・理学療法士)	乳幼児健診で要指導・要観察とされ、継続的な支援を必要とする子どもと保護者及び希望者が対象。作業療法士(OT)、理学療法士(PT)による運動発達相談。	OT 46人 PT 8人	85.7%	OT 年6回開催(9人/回) PT 年3回開催(3人/回)		
		すくすく相談(保健師・助産師・栄養士)	乳幼児健診で要指導・要観察とされ、継続的な支援を必要とする子どもと保護者及び希望者が対象。体重・身長測定その他保健師・栄養士等による育児指導・相談。	50人	69.4%	年6回開催 12人/回		
		2歳児育児相談(臨床心理士・言語聴覚士)	体重・身長測定その他保健師による育児指導・相談のほか、臨床心理士や言語聴覚士による言語発達の相談。	38人	79.2%	年6回開催 8人/回		
			離乳食教室	4～6か月児の保護者を対象に、離乳食初期の作り方等について栄養士による講話実演を行う。	51人	70.8%	年12回開催 6人/回	

子育て世代包括支援課

令和4年度福津市保健事業実績

基本方針	施策の柱	事業名	主な内容	R4年度	受診率または実施率	目標値または計画値等	担当課	
ライフステージに応じた健康づくりの推進	次世代の健康	電話相談	乳幼児健診フォロー	乳幼児健診で要指導・要観察とされた児へ電話による保健指導。	422人	-	-	子育て世代包括支援課
		電話相談	乳幼児健診未受診者受診勧奨	乳幼児健診未受診者へ受診勧奨や児の状況把握のため電話による保健指導。	88人	-	-	
		訪問指導	乳幼児健診フォロー	乳幼児健診で要指導・要観察とされた児へ訪問による保健指導。	4人	-	-	
			乳幼児健診未受診者等訪問	乳幼児健診未受診者へ受診勧奨や児の状況把握のため訪問による保健指導。	9人	-	-	
		発達支援	園訪問	乳幼児健診後、就学前までのフォローの一環として、乳幼児健診後のフォローや集団生活に課題を持つ児、養育リスクのある家庭の児について、在園している園を訪問し情報の共有や必要時発達支援センターの利用につなげる。健診未受診者の状況確認を行う。	247人	-	-	
			ほっとタイム	心身の発達の遅れが心配される乳幼児や育児負担が大きい保護者対象の親子サロン。(こども課との共同事業)	37組(実) 296組(延)	-	年10回×4クール開催 12組/回	
	医療給付	未熟児養育医療	心身が未熟なまま出生した児に対して入院治療費用の公費負担を行う制度。	申請17人 (双子2組) 給付15人	-	-		
	高齢者の健康	介護予防講座事業・健康教室事業	自治会や市民グループ等の10人以上の団体を対象に、保健師、栄養士、歯科衛生士等を派遣。介護予防や健康の維持増進のための講座を実施。	6地域 (のべ50団体)	75%	8地域	高齢者サービス課	
		地域リハビリテーション活動支援事業	地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、市内の介護サービス(通所)事業所、住民運営の通いの場へリハビリテーション専門職等からの助言が得られるよう専門職を派遣する。また、地域包括支援センター内に理学療法士を配置し、事業所、住民運営の通いの場等への指導・助言に加え、介護予防のための通いの場の立ち上げ等の取り組みを支援する。	2団体	20%	10団体		
		短期集中予防サービス(通所型サービスC)	生活機能の改善を目的に、運動器の機能向上、口腔、栄養に関する指導を行う通所サービスを短期間集中的に提供する。新規の介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者は可能な限り、この短期集中予防サービスを利用し、地域の中で自分らしく暮らすことができるよう、支援する。	実利用者 98人	98%	100人		
		短期集中予防サービス(訪問型サービスC)	理学療法士、歯科衛生士等のリハビリテーション専門職が対象者の居宅を訪問、生活機能に関する問題を把握、評価し必要に応じた相談・指導等を短期間集中的に行う。また、地域包括支援センターと連携し、利用者の増加を図る。	実利用者 2人	17%	12人		
		地区巡回型介護予防健診事業	巡回型の介護予防健診を実施し、フレイルチェックなどにより要支援・要介護になるリスクのある人を早期に発見し適切な介護予防活動へつなぐ。また、健診を通じ地域の介護予防に対する意識を高め、住民運営の通いの場などの活動へ繋がるよう啓発する。 ※「フレイル」とは、加齢とともに心身の活力が低下し、いわゆる「虚弱」になった状態であるが、適切な介入により生活機能の向上が可能な状態のことです。	18地区	60%	30地区		
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業		①ポピュレーションアプローチ	ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを組み合わせ、後期高齢者ができる限り長く自立した日常生活を送ることができるよう、生活習慣病の発症や重症化の予防及び心身機能の低下を防止するための支援を行う。	5地区	100.0%	5地区		高齢者サービス課 いきいき健康課
	②ハイリスクアプローチ	後期高齢者の健診とレセプト情報を突合し、医療機関未受診や中断者ならびに心電図検査、慢性腎臓病の有見者に対し保健指導を実施する。	11団体	110.0%	10団体			
	③ハイリスクアプローチ	後期高齢者の健診とレセプト情報を突合し、医療機関未受診や中断者ならびに心電図検査、慢性腎臓病の有見者に対し保健指導を実施する。	94人	109.3%	86人			
市民の健康を支える環境整備の推進	社会参加	食生活改善セミナー	食生活改善推進員養成講座、栄養・運動・休養を中心に講話と実技。3年に1回実施。次回令和7年度。	10人	50.0%	20人	いきいき健康課	
		食生活改善推進会	食生活改善推進の自主活動団体。研修・学習で得た知識を調理実習をとおして伝える。健康を栄養の面から学童から高齢者までの幅広い住民に伝える重要な役割を担う。	52人	69.3%	75人		

令和4年度福津市保健事業実績

事業名等	主な内容	R4年度	受診率または実施率	目標値または計画値等	担当課
定期 予防接種 (乳幼児・ 児童・生徒)	BCG ※20年度から個別接種に移行	662人	110.9%	95.0%	子育て世代包括支援課
	日本脳炎(1期)	2,465人(延)	138.0%	-	
	日本脳炎(2期)	832人	98.5%	-	
	四種混合 ※H24.11月より開始。三混やポリオについて未接種の人が対象	2,576人(延)	98.6%	-	
	三種混合	5人(延)	-	-	
	不活化ポリオ ※H24.9月より開始	0人	-	-	
	二種混合	611人	77.7%	-	
	麻しん・風しん混合1期	698人	101.2%	95.0%	
	麻しん・風しん混合2期	819人	95.1%	95.0%	
	インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチン ※H25.4月より定期接種化	2,615人(延)	108.9%	-	
	小児用肺炎球菌ワクチン ※H25.4月より定期接種化	2,609人(延)	107.7%	-	
	子宮頸がんワクチン ※H25.4月より定期接種化、同年6月より積極的勧奨の差し控え。R4.4月より勧奨再開。併せてこれまで接種の機会を逃してきた対象者へ3年間のキャッチアップ接種を実施。	607人(延)	定期15.0%、 キャッチアップ 26.7%	-	
	水痘 ※H26.10月より定期接種化	1,306人(延)	88.1%	-	
	B型肝炎 ※H28.10月より定期接種化	1,994人(延)	109.2%	-	
	ロタウイルスワクチン ※R2.10月より定期接種化	1,398人(延)	99.8%	-	
高齢者肺炎球菌ワクチン	65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95又は100歳となる日の属する年度の初日から該当年度の末日までの間にある者。ただし、過去に高齢者肺炎球菌予防接種を受けたことがある者は対象者から除く ※H26.10月より定期接種化	389人	12.5%	-	
高齢者インフルエンザワクチン	満65歳以上の高齢者に対して、接種費用の一部を助成する。	11,552人	61.0%	-	
成人の風しん または 麻しん風しん 混合ワクチン	風しん抗体価が低いと判定された、妊娠を希望する女性及び、妊婦または妊娠を希望する女性のパートナー・同居者を対象に、風しん(麻疹・風しん混合)ワクチンの接種費用の一部を助成する。	106人	-	-	
風しんの追加的対策【抗体検査】	風しんの追加的対策として、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、抗体検査と風しん抗体価の低い方への定期接種(予防接種)を3年の時限措置で段階的に実施。抗体保有率9割の目標達成のため、令和6年度まで事業延長。	243人	29.3%	60.0%	
風しんの追加的対策【予防接種】	H31年度(R1年度)昭和54年～47年生まれにクーポン発送 R2年度 昭和46年～37年生まれにクーポン発送 R3年度 未受検者へ勧奨ハガキ発送 R4年度 未受検者へクーポン発送	49人	24.0%	20.0%	
新型コロナウイルスワクチン	初回接種は生後6ヵ月以上から 5/25～4回目接種開始 9/20～令和4年秋開始接種開始 3～5回目の接種でオミクロン株対応ワクチンを一度接種すれば令和4年度の接種は終了	5,4504人 198,278人(延)	1回目79.6% 2回目78.6% 3回目64.5% 4回目43.7% 5回目23.1% オミクロン株 対応ワクチン 42.8%		接種対策室 新型コロナ
造血細胞移植後の任意予防接種助成	造血細胞移植の後に、医師が必要と認めた予防接種を再接種する場合、接種費用の一部または全額助成を行う(事前申請が必要)。	0件	-	1件	包子育て支援課
節目健診	骨粗しょう症健診(40・45・50・55・60・65・70歳 女性限定) 年8回実施	428人	13.8%	-	いきいき健康課
肝炎検査	① 40歳 ② 41歳～70歳の方で肝臓病にかかったことがある、大きな手術を受けたことがある、妊娠・分娩時に多量出血したことある人(ただし、B・C型肝炎検査を受けたことがある人B・C型肝炎にかかったことがある、治療中の人は除く)を対象としたB型・C型肝炎ウイルス検査	347人 要精検 5人	1.1%	-	
結核検診	集団健診方式による胸部レントゲン結核検診(65歳以上)	2,005人	10.6%	-	
献血推進事業	献血の推進及び啓発を行い、市民の献血への積極的な協力を推進する ( )人数はイオン福津での献血者数を除いた市施設、職域等での献血者数	1,803人 (568人)	146.0%	1,235人	